

供給者に対する意見照会結果

質 問 事 項	割合 (%)
●全分野共通	
政府調達に関する年度当初の提供情報の活用	
a 有益であり、積極的に活用している	45.8%
b 時々活用している	50.0%
c 活用していない	4.2%
個々の調達案件に関する情報提供方法の利便性等	
a 十分満足できる	37.5%
b ある程度満足できる	54.2%
c 不満足である	8.3%
「政府調達における我が国の施策と実績」について	
a 満足しており、活用している	16.7%
b ある程度満足している	45.8%
c 不満足	4.2%
d 利用したことがないので分からない	33.3%
調達実績一覧のホームページ掲載について	
a 満足しており、活用している	4.3%
b ある程度満足している	78.3%
c 不満足	4.3%
d 掲載されていることを知らなかった	13.0%
随意契約、指名競争の縮減による競争性、透明性の確保	
a 十分確保されている	37.5%
b ある程度確保されている	62.5%
c 確保されていない	0.0%
応札期間の延長について	
a 便益を受けている	82.6%
b 特に便益を受けていない	17.4%
資料提供招請・意見招請の基準額（80万SDR）	
a 適当である	91.3%
b 引下げが必要である	8.7%
c 引上げが必要である	0.0%
総合評価落札方式について	
a 適正な評価、競争性の確保に十分寄与している	29.2%
b " がある程度寄与している	58.3%
c " に寄与していない	4.2%
d 総合評価落札方式による実績がないので分からない	8.3%
苦情処理制度活用の検討	
a 苦情処理制度の活用を検討したことがある	8.3%
b 苦情処理制度の活用を検討したことがない	91.7%
c 苦情処理制度について十分な知識を持ち合わせていない	0%

質 問 事 項	割合 (%)
●電気通信・医療技術分野共通	
資料提供招請・意見招請の基準額 (38.5万SDR)	
a 適当である	73.9%
b 引下げが必要である	0.0%
c 引上げが必要である	0.0%
d 当該分野の調達実績がないので分からない	26.1%
総合評価落札方式の標準ガイドにおける評価方法	
a 適当である	30.4%
b 概ね適当である	39.1%
c 適当でない	0.0%
d 当該分野の調達実績がないので分からない	30.4%
総合評価落札方式の導入基準額 (38.5万SDR)	
a 適当である	72.0%
b 引下げが必要である	0.0%
c 引上げが必要である	4.0%
d 当該分野の調達実績がないので分からない	24.0%
技術仕様の公平性	
a 措置どおりに行われている	31.8%
b 概ね措置どおりに行われている	63.6%
c 措置どおりに行われていない	4.5%
●その他	
総合評価落札方式の標準ガイドにおける評価方法 (コンピューター(含むサービス)分野)	
a 適当である	16.7%
b 概ね適当である	58.3%
c 適当でない	4.2%
d 当該分野の調達実績がないので分からない	20.8%
総合評価落札方式の導入基準額 (80万SDR) (コンピューター(含むサービス)分野)	
a 適当である	70.8%
b 引下げが必要である	8.3%
c 引上げが必要である	0.0%
d 当該分野の調達実績がないので分からない	20.8%
「政府情報システムの整備及び管理に関する標準ガイドライン」等による政府の取組み	
a 適当である	25.0%
b 概ね適当である	54.2%
c 適当でない	8.3%
d 当該分野の調達実績がないので分からない	12.5%

※クエスチョネアへは計24者が回答。

※四捨五入により百分率の合計が100%にならない場合がある。

※設問に無回答の者は除いた。